

分かりやすく、使いやすい公共交通 ネットワーク実現会議(丹後地域) (第4回会議)

日時:平成18年8月7日(月)
場所:天橋立ホテル

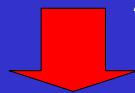
1 利用実態調査の概要

改めて徹底した
実態把握

利用者の立場に立った
チェックシートにより
現地調査・検証

利用実態調査(委託調査)
(KTR、丹海 全便、全区間調査)

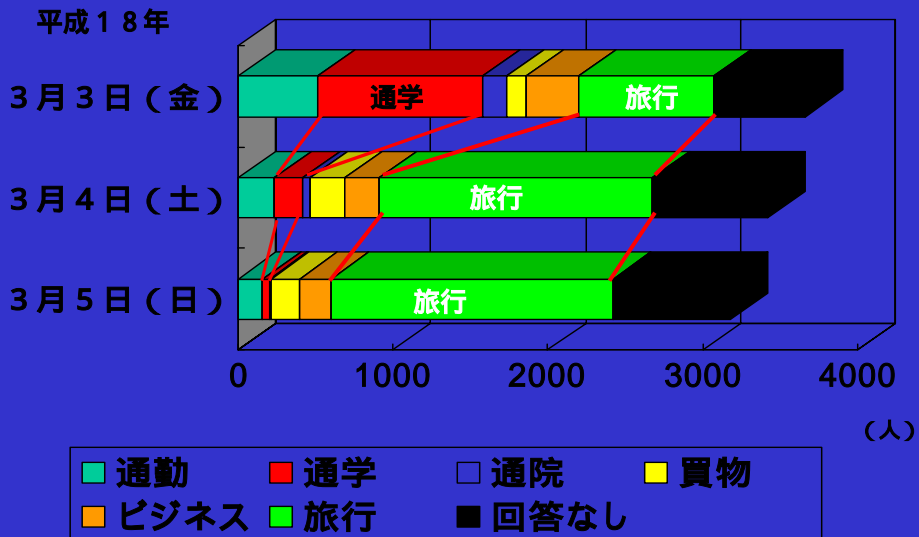
18.3.3(金)~5(日)実施



- ・「改善の課題」
- ・「改善の方向性」

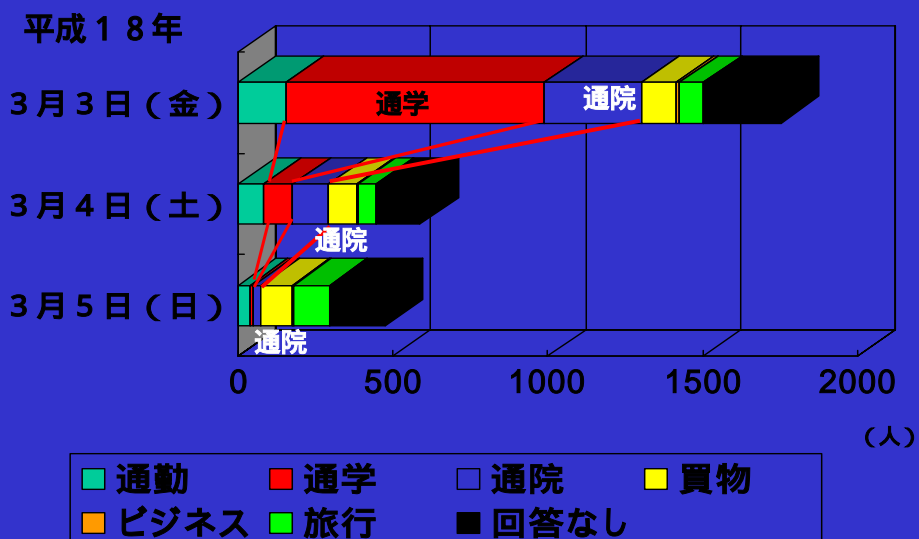
(1) KTR

KTR利用者数と利用目的



(2) 丹後海陸交通バス

丹海バス利用者数と利用目的



2 委員からの主な提案・意見(抄出)

ダイヤ



- 丹後から京都などに行く場合、早朝にバスに乗るが、バスと列車との連絡ができていないため、待ち時間が長い。接続を改善できないか

運賃



- 分かりやすく記憶に残りやすい運賃体系にするため、50円刻み、100円刻みの運賃にしてはどうか

駅・停留所



- 四季を代表する花を駅や路線全体に植えてはどうか。(6月はアジサイ列車7月～8月はひまわり列車として運行) <紅葉、桜等の植樹の意見もあり>

車両



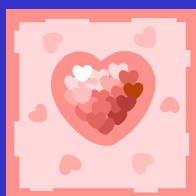
- 多客時の事故防止のため、つり革を設置し、一部座席以外は横置きベンチシートにしてはどうか(座席回転作業の省力化、混雑時に荷物を座席に置き難くするため)

情報提供



- 各旅館のパンフレットの中に、お客様に便利な代表的な往復時刻表及び料金表を添付してもらうよう、旅館などに協力を求めています

その他



- 乗務員や駅員等の態度について、利用者が不快に感じることもある。ホスピタリーの改善・向上のためにも、交通関係職員の研修が必要ではないか

3 「改善実行計画」構成案

- (1) 丹後地域における公共交通の現状と課題
- (2) 改善に当たっての基本的な考え方
- (3) これまでの経過
 - ・現地調査結果の概要
 - ・利用実態調査結果の概要
- (4) 改善実行計画
 - (先行改善実施事例紹介)
- (5) まとめ

4 「改善実行計画」素案 (当面の対応)

(1) ダイヤ改善(例)

項目：平日、土休日で需要に合わせた別ダイヤ設定

改善内容：

- ・平日の病院診療終了時刻に合わせたダイヤ設定
バス～KTRの接続強化
- ・土休日の昼間に増便(観光客対応)、早朝(通勤、通学用)ダイヤの減便

実施時期： H19.3～(JRダイヤ抜本改正と連動)

実施主体： KTR、丹海バス、関係市町

費用負担： KTR、丹海バス、関係市町、京都府

改善先行実施事例

タンゴ悠遊号(今夏臨時快速)

7/22～8/20の毎土日
西舞鶴～峰山(一日一往復)
由良川橋りょうで最徐行
奈具海岸で一旦停止
丹海バスガイドによる案内



(2) 運賃改善(例)

経営に直接影響するので慎重に検討

項目：分かりやすい運賃(例100円刻み)の設定

改善内容：

・路線バスに100円刻み運賃を設定

実証運行予定(改善実施予定事例)

実施概要： 200円低定額バスを間人循環線等で実施

実施時期： H18.10～19.9

実施主体： 丹海バス、関係市町

費用負担： 丹海バス、関係市町、京都府、国

改善実施予定事例概略

京丹後市200円バス適用範囲



(3) 駅・停留所改善(例)

項目：バス停位置の見直し

改善内容：・駅前広場へのバス停移設(例：野田川駅)
・弥栄病院への乗り入れ

実施時期： H18.10～

実施主体： 丹海バス、関係市町

費用負担： 丹海バス、関係市町、京都府

改善実施予定事例概略

弥栄病院(京丹後市)



弥栄病院前 弥栄病院
溝谷 弥栄病院
**弥栄病院の玄関前
への乗り入れに変更**

現 弥栄病院前バス停(弥栄病院線)

(4) 車両改善(例)

項目：快適な車両、乗って楽しい車両

改善内容： ・シートカバーを活用した観光案内
・車内での写真展やラッピング車両

実施時期： H18.10～

実施主体： KTR、丹海バス、関係市町

費用負担： KTR、丹海バス、関係市町、京都府

(5) 情報提供改善(例)

項目：一目で分かる、時刻・運賃・乗換情報・所在位置

改善内容： ・駅舎等での接続案内表示を見やすく
・ポケット時刻表や、旅館パンフの活用
・検索システムの構築

実施時期： H18.10～

実施主体： KTR、丹海バス、地元、関係市町

費用負担： KTR、丹海バス、地元、関係市町、京都府

(6) その他(例)

項目：気持ちよい(魅力的な)サービス

改善内容： ・乗務員や駅員のにこやかな対応
・丹後ならではの味覚の提供(駅弁、土産など)

実施時期： H18.10～

実施主体： KTR、丹海バス、地元、関係市町、商工会等

費用負担： KTR、丹海バス、地元、関係市町、京都府

5 「改善実行計画」素案 (中期的に対応)

運賃 ・ KTR～丹海バス共通割引切符創設(～検討)

駅・停留所 ・ 駅名称の変更(～検討)
・ バス待合施設の整備(～)

車両 ・ KTR内装の定期的変更(～検討)
・ キャラクター車両運行(～検討)

6 「改善実行計画」素案（将来的な課題）

ダイヤ

- ・ KTR宮津線へのパターンダイヤ導入 <行違設備等の整備必要>

運賃

- ・ ICカードの導入 <設備整備必要、対費用効果検証>

駅・停留所

- ・ 駅への集客施設・商業施設等併設 <施設整備、地元調整必要>

車両



DMVイメージ

- ・ トロッキ列車<実績を踏まえて>
- ・ SL、DMVの導入<鉄路構造強化必要>

情報提供



- ・ バスロケーションシステム導入<設備整備必要>